

Dr.わーだーの養生記

vol.8

「屋台と健康(2)」

こち
心血医院

院長 和田 豊郁



戦後、焼け野原となった久留米の街は、あつと言
う間に屋台の街となったそうです。私が久留米に來
た昭和53年には、元は屋台だったという繁盛店が
いくつもありましたから屋台の最盛期は過ぎていた
と思いますが、それでも西鉄久留米駅前の歩道橋
の所から本町の角を曲がって三本松公園の西側ま
で屋台が連なっていました。それと小頭町公園横。
私のお気に入りは鉄なべ餃子の屋台で、注文が
入ってから皮を伸ばして餡を入れて包み、鉄なべで
焼いてジュワァ〜、はいどうぞ、というスローフードな
店でした。屋台の多くは専門店ですから、入って
30分もすれば他の店に移動することになります。
そもそも野生のサルの仲間は木の実や果実を食べ
たら餌場を移動して別のものを食べるものです。医学
研究では、30分以上じっと座っていると寿命が縮ま
ると言いますから、一品一杯で次へ行くのは健康
的な食べ方だったんですね。

■ 心血医院

久留米市日吉町14-68 / TEL.0942-65-5129

診療時間:〈月〜土〉9:00〜12:00、〈月火・木金〉19:00〜22:00

休診日:日祭・盆・年末年始